

Npop'n

VOL.156

えぬぽっぷん

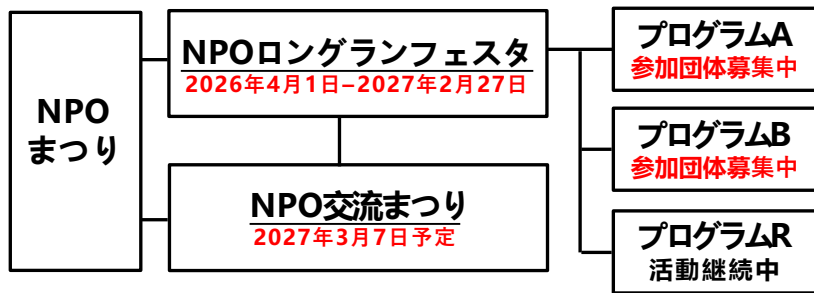
◆X(旧Twitter) ◆Instagram ◆HP



NPO POP NEWS = (略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

『NPOロングランフェスタ2026@新宿』エントリー募集中！



『NPOロングランフェスタ2026@新宿』への参加団体の登録受付を4月1日から開始しました。他の団体や企業、市民活動グループなどと協力しながら、社会課題の解決や活動PRを進めていきましょう。「まずは1ミリから！」チカラをあわせて社会を動かしませんか。

◆特設サイトはこちらから⇒



◎“NPOまつり”とは？

NPOは社会貢献活動を非営利で行う団体です。よりよい社会を実現するため、社会課題にいち早く気づき、その解決に向けて素早く行動を起こします。そして他の社会貢献活動団体や地域の市民活動グループ、企業、学生ボランティアとも連携しながら活動を進めていきます。

このようなNPOの活動について、社会貢献活動をする人々に限らず、学生・次世代や区民・市民の皆さんに知ってもらい、NPOとの交流を深める場として設けたのが“NPOまつり”です。

◆NPOロングランフェスタのプログラムにエントリーしませんか？

今年度も2つのプログラムで参加団体を募集しています。

《プログラムA》“ソーシャル・スタートアップ”プロジェクト

⇒ 相談や連携を通じて新たに課題解決を図る協働型プロジェクトです。

《プログラムB》“NPOパワーアップ”プロジェクト

⇒ NPOが着手している活動を自らPRする単独型プロジェクトです。



NPOロングランフェスタでは、NPOが取り組んでいる課題に限らず、団体内のお困りごとでもお悩みごとでも、課題をかたまりに分け小さなタスクにして、ステップ・バイ・ステップで解決するアプローチをお勧めしています。プログラムにエントリーした後、各プロジェクトは3か月毎に活動を振り返り、成果を確かめながら目標達成を目指すこととなります。とりわけ、プログラムAのプロジェクトにとっては期間中、“協働サポーター※”や固有スキルをもつ“プロボノ”による支援を受けられるのが大きな利点です。そして、2027年2月27日、プログラムA・プログラムBの登録プロジェクトは活動報告会で成果発表を行い、それに続く表彰コンテストでは選考委員会による審査を経て大賞（副賞として寄付金10万円）が授与されることになっています。プロジェクト登録を是非ともご検討ください。

※協働サポーターとは？⇒融資・助成金・NPO運営・地域連携・イノベーション等の分野における有識者・実務家・専門家のグループのこと。

◆“NPO交流まつり2026@新宿”《2027年3月7日開催予定》

“NPOロングランフェスタ2026@新宿”の登録団体が活動成果を共有する場と、また、社会貢献活動に取り組む団体が区民・市民と広く交流する場として、“NPO交流まつり”を開催します。詳細は7月、特設サイトにて発表します。

【交流事業④報告】『NPO×プロボノ×ソーシャル・インパクト』

～あなたのスキルが誰かの未来を変える!組織や立場の枠を超えた新しい社会参画のあり方～

今号では、2月7日（土）開催した交流イベント④の様子を照会します。

社会課題への関心が高まる中、社会参画のあり方も多様化しています。よりよい社会を目指して、「プロボノ（職業上のスキルや専門知識をボランティア活動に活かしている人達）が、NPO、企業、学生、地域コミュニティ等と連携・共創し、活動するための社会参画のあり方について考えました。

◆登壇者

津田 詩織 氏（認定NPO法人サービスグラント 事務局運営委員）
桐ヶ谷 綾菜 氏（NPO法人二枚目の名刺 サポートプロジェクトデザイナー）
土居 充 氏（一般社団法人Work Design Lab
パートナー・コミュニティプロデューサー）

◆ファシリテーター

山下 馨（一般社団法人NPO協働機構 代表）



◎事例紹介①津田 詩織（つだしおり）氏

プロボノとは「職業上のスキル・経験等をボランティアとして提供し、社会課題の解決に成果をもたらすこと」です。最近は大學生や高校生の参加も見られます。サービスグラントの登録者数は1万人を超え、その半数は過去にボランティア経験がない方です。登録理由は、スキルを活かす、これを機に社会貢献活動に関わっていききたいなどで、30代・40代の方が多く、リタイアした方が次のキャリアとして参加することもあります。

サービスグラントでは、プロジェクト型の支援を行っており、「チーム型」と「GRANT（グラント）型」の2つの仕組みがあります。

チーム型は年に3回募集し、団体からの申請をヒアリングしてチームを作ります。グラント型は団体がプロボノを募集し、個人が応募するものでいつでも始めることができます。

プロボノも進化しており、地方の団体を東京等にいる人が支援する「ふるさとプロボノ」、育休・離職中のママによる「ママボノ」、NPOの悩みを聞きながら課題整理する「NPOメンタリングプログラム」、大學生等学生による「ユースプロボノ」などもあります。また、プロボノコーディネータになるプログラムも実施しています。

プロボノは団体の運営基盤の強化を支援しており、高い評価を得ています。参加者からの評価も高く、視野が広がった、仕事に活かせる貴重な経験を得たなどと評価しています。



津田氏



◎事例紹介②桐ヶ谷 綾菜（きりがや あやな）氏

私は中高の理科教員で、偶然、二枚目の名刺のプロジェクトに参加し、その後運営側として活動しています。

二枚目の名刺のキャッチフレーズは「自分を変える 社会を変える 笑顔になる」です。「組織や立場を超えて、社会のこれからを創る」という恰好い社会人—二枚目—が持つもう一枚の名刺が「二枚目の名刺」です。

二枚目の名刺では、会社や組織に身を置いたまま、支援を必要とする団体を対象にチームを組んで活動します。団体には外からの知見を得て変化が起きます。社会人・学生は多様なバックラウンドをもつメンバーが集まり、活動を行うので価値観が変化し、自分がいる場所と外とのギャップに気付いて本業の中での改革、イノベーションを通じて社会の変化を起こしていきます。このように参加する社会人、学生、組織の変化を同時に実現していきます。

私は、プロボノとしてマラウイで活動しているNPOの日本国内での活動強化の支援に関わり、運営側として福島での「Hallo! 福島」に関わりました。

受け入れ団体にとっては外の視点で次の課題が言葉になったこと、社会人にとってはスキルと社会が接続する感覚を持てたこと、学生にとっては学びが現実の社会課題と結びついたこと、地域にとっては一緒に作るという関係性が生まれたこと、メンバーの中で問や学びが動き出したことが印象的でした。

私は外に出て学ぶことのハードルが下がり、外に出るほど世界は広がるという実感を持ちました。学び方と生き方が変わったことが自分にとっての価値です。プロボノは誰かの役に立つための活動だけでなく、社会とのつながりを学ぶ入口、新しい社会参画の入口、立場の違いを価値に変える装置ということがよく分かりました。



桐ヶ谷氏



事例報告③土居 充氏（どい みつる）氏

Work Design Lab (WDL) は2013年の設立でメンバーは約300人、所属、年齢などは多様です。様々なセクターとの共創による事業づくり、自らのミッションを掲げ共創をリードする人づくり、対話と実践を通じ社会課題の発見と解決を進める社会づくりに取り組んでいます。

高校生の頃は美大を目指していましたが、高卒後アパレルの販売員、SEに転職してスキルを身に付けた後、WEBデザイナーになりました。システムとデザインの両方のスキルがあることで仕事の幅が広がり、両者間の通訳にもなり、新しい職能が生まれる経験をしました。会社に多数あった事業化されないままだった新規事業の種の芽出し、コロナ禍時には時間と距離の常識がひっくり返ったと感じ、メタバースと地方創生のプロジェクトを始めました。自分が持つスキルでプロトタイプなどを作れたので、進めることができました。

WDLで、南州タコスプロジェクト※など会社では絶対できない地域課題解決などのプロジェクトに取り組んでいます。これまでの中で自分の幅を広げられた、多様性を作れたことがよかったと思います。組織の中で得られるキャリアは限られています。AIが急速進中、複数のキャリアを身に付け、横断的に仕事ができるようになる必要があります。趣味やかつて好きだったものが頑張る源になります。マルチスキルの強みはいくつかあります。

- ・プロトタイプを自分で作れるようになると最強です
- ・周りの人を仲間に入れてくれることでアウトプットが変わります。
- ・複数のコミュニティを持つことで勇気を持てます。

もっとマルチになりたい時、会社では得られない体験と成長の機会があるプロボノが最適です。

※高齢化などにより荒れた農地でトウモロコシを栽培し、それを材料に市販品とは違うタコスにすることで地域課題の解決に取り組む。



土居氏



◆トークセッション



【質問】 プロボノをお願いする際の費用はいくらくらいですか？

(津田) 費用はほぼかからないと言ってよいと思います。チーム型の場合は実費が基本、グラント型の場合は団体で決めて募集しますが、無料、薄謝、交通費負担など様々です。

【質問】 団体として、準備や期間中の対応などで気をつける点はありますか？

(津田) 依頼する内容をできるだけ明確にして下さい。例えば、漠然とお金集めしたいではなく、寄付募集のHPを改善したいなどです。実現したい社会的成果も明確にしてほしい。プロボノの期間中は、日常よりも少し業務が増えること、プロボノとの連絡などでは企業人のスピード感に合わせた対応が必要です。

(桐ヶ谷) プロジェクトの途中で、プロボノが「思っていたことと違うから」と辞めることがあります。団体の想いやお願いしたいことを明確にしておくことが大事です。

【質問】 教育の場にプロボノなど外からの参加が必要と思いますが、何かヒントはありますか？

(桐ヶ谷) 教育以外のものを生徒に教えてもらえる場の提供という意味で高校生とプロボノがチームを組んで探究活動をすることは意味があると思います。同時に、カリキュラムとの関係、学校と外部の団体の関係や教員の負担などの解決すべき課題もあると思います。

(土居) タコスのプロジェクトで、現地の町役場職員からの要望もあって農業高校にタコスを作りに行ったことがあり、生徒に考えてもらうキッカケになったと思います。

(山下) 補足やメッセージがあれば。

(津田) 様々なところで担い手不足、後継者不在と聞きます。また、共助がなくなりつつあるとも感じます。プロボノは新しい共助の仕組みと考えることができます。

(桐ヶ谷) 何の役に立ったの？どんなスキルが身についたの？とよく聞かれますが、それを考えているから踏み出せないのです。変化していく環境に対処することが大事ですが、どんな環境になるかはわかりません。価値観やスキル、経験はたくさん持っていた方がいいので、まず1歩踏み出して参加してみるのが必要です。

(土居) 同意見です。面白そうと思ったら飛び込んでみることです。そこで知り合う人・体験は家でじっとしては得られないし、新しい価値観をくれます。私の場合、幅を広げられたことがよかったです。プロボノの場合、普段なら接点を持ってない所にメンバーとして入っていきます。プロボノは自分自身をアップデートする機会になります。

聴かせて
NPO!

＊ちょっと気になるNPO団体を紹介します＊

《一般社団法人Code for Japan》

～社会課題を「ともに考え」、解決策を「ともにつくる」～

Code for Japanは、「ともに考え、ともにつくる社会」というビジョンのもと、自治体、市民、技術者、企業、NPOなど多様な人々が課題についてともに考え、解決策を作り、共有する場の運営や、行政機関と連携した官民共同事業に取り組んでいます。

♪当センターで行われる「第204回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2026年7月9日(木) 18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください

申込みは
こちらから

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)

語り手：一般社団法人Code for Japan 明主 那生 氏

参加費：無料

主催・問合わせ：一般社団法人NPO協働機構

【TEL】 03-5206-6527

【Email】 hiroba@s-nponet.net

後援：新宿区



センターからのお知らせ

講座 【個人情報管理講座】

～今の理解と管理・運用で大丈夫?～

【日時】 7月2日(木)18:45～20:45

【内容】 個人情報保護法、個人情報の取扱いルール(利用目的、第三者提供、安全管理義務等)、NPOに求められる対応など適切な管理・運用を学びます。

【講師】 三木 由希子 氏(NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長)

【会場】 当センター 501会議室

【参加費】 1,000円(資料代等)

【定員】 会場(先着順)20名
オンライン(ZOOM)40名

【申込フォーム】

《会場》 《オンライン》



講座 【会計入門講座①②】

～仕訳をマスターしよう!～

【日時】 ①7月16日(木)18:45～20:45

②7月30日(木)18:45～20:45

【内容】 経理の基本となる「複式簿記」、その要となる「仕訳」のルールやポイントを学び、実際の練習を行うことで仕訳が身に付きます。

【講師】 田中 義幸 氏(NPO法人日本公会計支援協会理事長、公認会計士・税理士)

【会場】 当センター 501会議室

【参加費】 各回1,000円(資料代等)

【定員】 会場(先着順)20名
オンライン(ZOOM)40名

【申込フォーム】

《会場》 《オンライン》



※ 詳細はHPにてご確認ください

★参加ご希望の方は上記のQRコードからお申込みいただくか、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL:<https://snponet.net/>】

アクセス

《バスでお越しになる場合》(いずれの停留所からも徒歩で4分)

各線 新宿駅 西口より関東バス〈宿02〉で「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)

各線 高田馬場駅 早稲田口より都バス〈飯64〉または〈上69〉で「小滝橋(郵便局前)」下車(乗車時間5分前後)

《最寄駅から徒歩でお越しになる場合》

東京メトロ東西線 落合駅 西武新宿線 下落合駅より徒歩12分

JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

アクセスは
こちらから



情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315

FAX : 03-5386-1318

E-mail : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>

X(Twitter) : https://twitter.com/s_NPOcenter

Instagram : https://www.instagram.com/npo_kyogi/

作成&発行

新宿区立新宿NPO協働推進センター

指定管理者：一般社団法人 NPO協働機構

(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)

編集：関根 聡史 林 幸靖 月岡 英人

新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。